

提出いただいた応募書類（規約・会則等、役員名簿、収支書類を除く）は、活動内容紹介のため、ホームページ上に公開します。応募用紙・補足資料に個人情報を記載しないようご注意ください。

【応募用紙】

1. 応募者概要

氏名または 団体名	(ふりがな：にんていひえいりかつどうほうじんかながわかいなんきゅうじょたい) 認定特定非営利活動法人神奈川海難救助隊		
代表者の 役職・氏名 (団体の場 合)	(ふりがな：りじちょう のぶた せいじ) (役職) (氏名) 理事長 信田清治	会員数 (団体の場合)	(令和3年11月現在) 26名
ホームページ アドレス	http://www.kanagawamr.org/	活動開始年月	昭和・平成・令和 42年4月
活動分野 (複数選択 可)	① 川・海・水 2 緑・樹林 3 農業 4 3R 5 環境教育・学習 ⑥ 生物多様性 7 地球温暖化対策 8 その他 ()		
環境に関する 主な活動内容 (審査対象と なる環境活 動・取組を箇 条書きで記 入。行を適宜 追加して下さい)	環境に関する主な活動内容 (例) □□の美化・清掃活動、○○の生き物調査、植樹活動、△△の環境教育、食品ロス削減、地産地消 など		※ (もし該当がある場合は、SDGsの目標番号を記入してください)
	・ 船舶で横浜港の浮遊ごみ回収活動		目標7：環境の持続可能性確保
	・		
	・		
活動地域 (複数選択 可)	① 横浜市 (横浜港内) 区 2 横浜市全域 ③ その他 (東京湾及び相模湾等を含む)		
活動の目的や ねらい	横浜港内の浮遊ごみが海底に沈む前にとマイクロプラスチックになる前に早急回収し、水質環境汚染や景観損失等の防止を目的とします		
過去に受けた 表彰および受 賞年度	(例) 横浜□□賞 (平成○年度) 国土交通省関東地方整備局長賞：海をきれいにするための一般協力部門 (令和元年7月15日)		

※SDGs (持続可能な開発目標) を達成するための活動の中で、環境の保全や環境教育など、環境に関する活動は応募対象となるため、参考までに御記入いただくものです。該当しない場合は記入不要です。

2 最近3年間の主な活動

※「1 応募者概要」の「環境に関する主な活動内容」について、最近3年間の主な活動内容を記入してください。

	活動・取組・イベント等の名称 発行した印刷物等の名称	参加人数、発行部数等	詳細内容
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 海上安全パトロール及び浮遊ごみ回収活動 横浜運河チャレンジ 	127人 5人	<ul style="list-style-type: none"> 当団体船舶等で横浜港内等の浮遊ごみを、当隊員と一般ボランティア参加者が玉網を使いすくい上げます イベント参加者の人命等安全確保の後方支援と同時に大岡川の浮遊ごみを回収する
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 海上安全パトロール及び浮遊ごみ回収活動 トゥルータバコカンパニー支援金活動 	120人 34人	<ul style="list-style-type: none"> 当団体船舶等で横浜港内等の浮遊ごみを、当隊員と一般ボランティア参加者が玉網を使いすくい上げます 同上活動と船舶船底掃除
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 海上安全パトロール及び浮遊ごみ回収活動 セブン・イレブン助成金活動 株式会社エフピコ環境基金助成金活動 	29人 53人 48人	<ul style="list-style-type: none"> 当団体船舶等で横浜港内等の浮遊ごみを、当隊員と一般ボランティア参加者が玉網を使いすくい上げます 東京湾全海域の浮遊ごみ回収 東京湾全海域の浮遊ごみ回収

※ 現在活動休止中の場合でも、今後継続して取り組む見込みがある場合は応募の対象とします。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、現在活動休止中の場合には、「詳細内容」の部分にその旨を御記入ください。

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
自治会・町内会との関わり		
学校との関わり		
他の市民団体との関わり	横浜運河チャレンジ	毎年11月に開催されるイベントで、イベント参加者の人命等安全確保の後方支援と同時に大岡川の浮遊ごみを回収する
企業等との関わり	当団体通常活動 助成金活動	株式会社トゥルータバコカンパニーからの支援金と社員の活動参加 セブン・イレブン記念財団・エフピコ環境基金・日本財団等から助成金を受けての活動を実施します
行政との関わり		(活動内容が行政の補助事業である場合は、補助金交付の部署名と補助金の名称を記載してください)
その他、環境以外の分野との関わり	地震等災害発生時の復興支援活動	東日本大震災にかかる復興支援活動等を2011年と2012年に渡り床下泥の撤去や海底潜水捜索及び被災者へのシャボン玉ショー開催等を合計15回実施しました

4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機

※立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

※個人の方は、活動を始めたきっかけについて記入してください。

当時、江の島をはじめ湘南海岸海域においては海難事故等が多発しておりました、この事をふまえ海難事故等の救助救難活動を行うため、昭和42年4月に神奈川県藤沢市江の島を基地とした任意団体藤沢海難救助隊を創立しました。

任意団体藤沢海難救助隊（のちに神奈川県海難救助隊に改名）の活動は全てボランティアで無報酬です、このボランティア精神を受け継ぐ賛同者10名で平成10年に特定非営利活動法ができたのをきっかけに、神奈川県から認証を受け平成11年4月16日付けで特定非営利活動法人神奈川県海難救助隊を設立し、現在まで活動を継続しております。

今は、海難救助救難活動は公共機関関係専門部署が有るため、当団体は海難事故防止等の海上安全パトロール及び海洋浮遊ごみ回収活動を行っております。

この活動は一般市民の方や団体及び企業等の協力が有り、徐々にですが会員も増えております。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

海洋浮遊ごみ等を当隊員とボランティア参加者で、浮遊ごみが海底に沈む前及びマイクロプラスチックになる前に早急に回収し、水質環境汚染防止や景観損失再生及び水生動植物誤飲防止等を目標と目的とします。一般ボランティア参加者が浮遊ごみ回収活動を実践する事で、ごみ等に付いて興味関心を示し安易なポイ捨てや不法投棄等が減少すると思われます。このことが口伝えやSNS等で発信され、広く多くの方の協力が得られると思われます。

生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

※取組の中で、生物多様性に関するものを記入してください。

（冒頭の「応募について」ページにて、「生物多様性特別賞について」に事例を記載しています。）

海洋に浮遊するビニール類や発泡スチロール類を回収し、水生動植物の誤飲事故防止等と魚介類繁殖力増強を行います。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

※現在活動休止中の場合でも、今後の活動の見込みや方針について御記入ください。

海洋浮遊ごみ等を当隊員とボランティア参加者で、浮遊ごみが海底に沈む前及びマイクロプラスチックになる前に早急に回収し、水質環境汚染防止や景観損失再生及び水生動植物誤飲防止等を目標と目的とします。

また、例年、浮遊ごみ回収活動等のボランティア参加者は年間120名程度、浮遊ごみ回収総量は年間250キログラムです。

この活動にかかる船舶の維持・運営費等の経費には会費や寄付金及び助成金等を充当し、当隊員やボランティア参加者で海洋浮遊ごみが無くなるまで継続活動とします。

このような類似活動を広めるためフェイスブック等を使い、市民、団体、企業等にアピールを行います。

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

【例】

- 最も注目してもらいたい・評価してもらいたい取組
- 一番成果があがっていると思う取組
- 他の団体と異なる自分たちの強み・独自性
- 取組の過程で、どのような努力・苦勞があったか など

当団体は船舶を使用して横浜港内等の浮遊ごみ回収活動を実施しており、このような活動を行っているのは公共機関関係部署を除き当団体しかおりません。

浮遊ごみ回収活動は特定非営利活動法人認証の1999年から現在に至るまで、当隊員とボランティア参加者でこの活動を22年間継続実施しております。

当団体は船舶操縦免許や潜水士免許等の各国家資格を有した隊員で構成をしており、地震等災害発生時には人命救助救難活動及び救援物資等の海上輸送も行います。

令和元年度

海上安全パトロール及び浮遊ごみ回収活動：各月、当団体船舶で横浜港内等の浮遊ごみを、当隊員とボランティア参加者が玉網を使いすくい上げる活動を実施

4月（1回実施）	延べ14人参加	ビニール類1kg・ペットボトル10本 特殊物3kg（船舶用ロープ）
5月（1回実施）	延べ13人参加	ビニール類3.5kg・カン6個・木材15kg
6月（1回実施）	延べ11人参加	ビニール類41kg・ペットボトル17本・ビン3本・カン8個・ 木材62kg
7月（1回実施）	延べ10人参加	ビニール類1kg・ペットボトル0本・ビン1本・カン0個 木材1kg・竹0.5kg
8月（1回実施）	延べ9人参加	ビニール類1kg・ペットボトル5本・木材5kg・竹0.5kg 特殊物1kg（浮燈）
9月（1回実施）	延べ9人参加	ビニール類3kg・ペットボトル18本・ビン2本・カン3個 木材35kg
10月（2回実施）	延べ16人参加	ビニール類2kg・ペットボトル5本・ビン1本・カン3個 木材7kg・竹0.8kg 特殊物2kg（カラーコーン・手提げバッグ）
11月（1回実施）	延べ8人参加	ビニール類0.1kg・ペットボトル2本・カン2個
12月（1回実施）	延べ9人参加	ビニール類0.5kg・ペットボトル1本・ビン0本・カン2個 特殊物2kg（硬質プラスチック椅子）
1月（1回実施）	延べ15人参加	ビニール類2kg・ペットボトル2本・カン1個
2月（1回実施）	延べ13人参加	ビニール類1kg
3月（0回実施）	延べ0人参加	新型コロナウイルス感染防止のため中止

浮遊ごみ回収中



多種多様の浮遊ごみを回収



特殊回収物（電線ドラム）



横浜運河チャレンジ：イベント参加者の人命等安全確保の後方支援と同時に大岡川の浮遊ごみ回収活動
11月16日 延べ5人参加

写真集



令和2年度

海上安全パトロール及び浮遊ごみ回収活動：各月、当団体船舶で横浜港内等の浮遊ごみを、当隊員とボランティア参加者が玉網を使いすくい上げる活動を実施

4月（1回実施）	延べ13人参加	ビニール類0.1kg・ペットボトル5本・ビン1本・カン1個
5月（1回実施）	延べ13人参加	ビニール類0.1kg・ペットボトル4本・ビン2本・カン1個 木材5kg・竹2kg
6月（1回実施）	延べ11人参加	ビニール類1kg・ペットボトル5本
7月（2回実施）	延べ19人参加（うち1回はトゥルースピリットタバコカンパニー支援金活動）	ビニール類1.5kg・ペットボトル13本・カン1個・木材3kg 特殊物0.5kg（20ℓポリタンク）
8月（2回実施）	延べ15人参加（うち1回はトゥルースピリットタバコカンパニー支援金活動）	ビニール類4kg・ペットボトル32本・ビン4本・カン6個 木材70.5kg・竹1kg 特殊物10kg（自動車タイヤ1本・大型布袋）
9月（2回実施）	延べ12人参加（うち1回はトゥルースピリットタバコカンパニー支援金活動）	ビニール類6kg・ペットボトル25本・ビン2本・カン2個 木材7kg・竹0.5kg
10月（2回実施）	延べ11人参加（うち1回はトゥルースピリットタバコカンパニー支援金活動）	ビニール類5kg・ペットボトル33本・ビン1本・カン6個 木材2kg・竹1kg
11月（2回実施）	延べ15人参加（うち1回はトゥルースピリットタバコカンパニー支援金活動）	ビニール類2.2kg・ペットボトル36本・ビン2本・カン4個 木材8.3kg
12月（1回実施）	延べ7人参加	ビニール類0.1kg
1月（0回実施）	延べ0人参加	当船舶修理都合により中止
2月（1回実施）	延べ4人参加	ビニール類2.5kg・ペットボトル22本・ビン0本・カン3個 木材6kg・竹1kg 特殊物2kg（バイク用ヘルメット）
3月（0回実施）	延べ0人参加	新型コロナウイルス感染防止のため中止

浮遊ごみ回収中



トゥルースピリットタバコカンパニー社員



参加者集合写真



支援金活動の当団体船舶船底掃除



多種多様の浮遊ごみを回収



特殊回収物（カラーコーン）



令和3年度

海上安全パトロール及び浮遊ごみ回収活動：各月、当団体船舶で横浜港内等の浮遊ごみを、当隊員とボランティア参加者が玉網を使いすくい上げる活動を実施

エフピコ環境基金とセブン・イレブン記念財団の助成金活動実施

- 4月（3回実施） 延べ28人参加（うち1回はエフピコ環境基金助成金活動）
発泡スチロール類1kg・ビニール類8kg・ペットボトル16本
ビン1本・カン4個・木材40.5kg
特殊回収20.5kg（竹）
- 5月（2回実施） 延べ13人参加（エフピコ環境基金とセブン・イレブン記念財団の助成金活動）
発泡スチロール類1kg・ビニール類2kg・ペットボトル12本
ビン0本・カン1個・木材2kg
- 6月（2回実施） 延べ15人参加（エフピコ環境基金とセブン・イレブン記念財団の助成金活動）
発泡スチロール類0.5kg・ビニール類4kg・ペットボトル17本
ビン0本・カン1個・木材6.5kg
- 7月（3回実施） 延べ14人参加（うち2回はエフピコ環境基金とセブン・イレブン記念財団の助成金活動）
発泡スチロール類1.3kg・ビニール類4kg・ペットボトル21本
ビン0本・カン5個・木材55.5kg
- 8月（4回実施） 延べ19人参加（うち2回はエフピコ環境基金とセブン・イレブン記念財団の助成活動）
発泡スチロール類2.5kg・ビニール類6kg・ペットボトル71本
ビン1本・カン15個・木材7.8kg
特殊物2kg（ビール瓶ケース）
- 9月（6回実施） 延べ31人参加（うち2回はエフピコ環境基金とセブン・イレブン記念財団の助成活動）
発泡スチロール類2kg・ビニール類8kg・ペットボトル40本
ビン2本・カン5個・木材5.7kg
特殊回収8kg（竹）
- 10月（5回実施） 延べ25人参加（うち2回はエフピコ環境基金とセブンイレブン記念財団の助成活動）
発泡スチロール類4kg・ビニール類6kg・ペットボトル24本
ビン1本・カン6個・木材600.5kg
特殊回収30kg（竹）
- 11月（3回実施） 延べ12人参加（うち2回はエフピコ環境基金活動とセブンイレブン記念財団の助成活動）
発泡スチロール類0.4kg・ビニール類1.2kg・ペットボトル8本
ビン0本・カン4個・木材0.5kg

浮遊ゴミ回収中



丸太を引き上げ中



助成金活動参加者集合写真



多種多様の浮遊ゴミ



助成金活動参加者集合写真



多種多様の浮遊ゴミ

